



# 心の足跡



道徳教育だより

令和4年6月1日

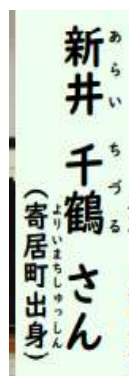
第2号

発行: 学校長、道徳部会

## 彩の国の道徳 「未来に生きる」

埼玉県教育委員会では、平成21年度に作成した本県独自の道徳教材「彩の国の道徳」の活用を通じて、小・中・高等学校の道徳教育の充実を図っています。そして本年の3月に、道徳教育のより一層の充実を図るため、新たな道徳教育教材集「彩の国の道徳『未来に生きる』」が作成されました。本教材では、子供たちが直面する現代的な課題や社会的な問題が題材として取り上げられています。また、ねらいとする道徳的価値を子供たちが自分との関わりで深め、多面的・多角的に考えられるよう、教材に加え教師用指導資料を併せて作成、掲載されています。

内容としては、・SNSでのトラブル(情報モラル)・男らしさ、女らしさについて・読書の楽しさ・コロナ禍で感じたこと等今、関心が高いSDGSや時事の問題などの教材です。また、冒頭に「埼玉県の先輩にインタビュー！」というコーナーがあり、埼玉県ゆかりの著名な方へのインタビューから、その方々の考え方・生き方が紹介されています。その中に、2020東京オリンピックで、女子柔道70Kgで金メダル、団体で銀メダルを獲得した、寄居町出身の新井千鶴さんのインタビューが掲載されていたので紹介します。



Q: 夢をかなえるために大切にすることは何ですか？

A: 夢をかなえるために大切なことは、「自分はどうあるべきか。」を考え行動し、途中で投げ出さずに続けることです。上手くいかないときも最後まであきらめずにやり抜くことが大切です。上手くいかない理由を人のせいにしたたり、ほかの人の行動を気にして流されてしまったり、人に嫌なことをしてしまったりといった行動は、自分で夢をかなえることを遠ざけてしまっています。人を思いやる気持ちが大切です。

Q: 未来を生きる埼玉の子どもたちへ、メッセージをお願いします。

A: 失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦してほしいです。挑戦するからこそ、当然失敗もあります。でも、その失敗があるからこそ、自分自身の成長につながります。大切なのは、同じ失敗を繰り返さないこと。失敗したときは、自分自身を見つめ直して、どうしたら良くなるかを考えてみることです。一つ一つの成功を重ねていく日々が成長につながります。勉強もスポーツも、一つ一つの積み重ねを大切にしながら、みなさんがいま取り組んでいる目標に向かって頑張ってください。

本校でも、道徳の時間の中で、この教材を活用していく予定です。この道徳教育だよりでも、生徒の意見を掲載していきますので、ご家庭でも、話題にしていただけましたら幸いです。

<1年A組の取組>「資料名：自分の性格が大嫌い 出典：新しい道徳1 東京書籍

内容項目A-（3）向上心・個性の伸長

- ぼくの「強気になれない。」ということは、長所に考えると「やさしい」ということになるんだと、感じた。この短所と付き合いしていくのは、大変そうだけど頑張る。
- みんな、人の長所を見つけるのが上手だなと思い、短所と長所は実に似たようなものなんだなと思った。
- 良いところも悪いところもあって、人間が成り立っていると思った。
- 私はみんなからのリフレーミングを聞いてすぐ泣いちゃうけど、少しは周りを考えられているのかなと思いました。すぐ泣いちゃう短所を生かして、人の気持ちを自分のことのように考えられるようになりたいです。
- 班のみんなは本当に優しい人だなあと思いました。これからも前を向いて自分らしく生きていきたいです。
- みんなが自分が短所だと思っていたことを、長所にしてくれてうれしかった。短所が長所になるなら、長所も短所になるのだろうか。よく考えたい。

<2年A組の取組>「教材名：宝塚方面行きー西宮北口前」 内容項目C-（10）遵法精神、公德心

- おじさんの言い方も悪いし、周りを見ずに友達の席を取っていた子も悪いと思うので、どちらも悪いと思います。
- 公共の場を使うときは、鞆を席におかないなど、周りの人のことを考えて行動したい。
- 改めて、他人を思いやることは大切だなと思いました。
- 常に周囲を確認して、その場に合った対応をする。周りのことを考え、迷惑をかけないようにする。
- 「そうじゃないのは二人ともたぶん分かっていた。」なんで人はすぐに素直になれないんだろう。自分の非を素直に認め、謝ることができたら、もっと人との関わり方はうまくいくんじゃないかな、と思った。社会には、多くの人が生活をしている。そういう人たちのことをいつも考えて、行動することができるようになれば、もっと明るい社会になると思う。
- 校外学習の時に、このようなことがないように気を付けて行動したい。

<3年生の取組>

「教材名：拉致被害者の人権について考える（自作資料）（内容項目 C-13 公正、公平、社会正義）

- 今まで拉致問題について全然知らなくて、少し聞いたことがある程度だったけれど、今回の授業で、それについて良く知ることができたので良かったです。まだ日本に帰っていない横田めぐみさんがとてもかわいそうだなと思った。
- 今、自分がこうやって普通に生活しているのが、どれだけ幸せかが分かった。
- 拉致という言葉初めて聞いて、何なんだろう、と思っていたけれど動画を見て拉致のことを学びました。また、人の権利を奪われる気持ちも学ぶことができました。自分の権利がなくなったら、この先の人生、楽しめないなと思いました。
- 私たちが「〇〇をやりたい」と言える環境そのものが大事で、日々周りの人に支えられ、仲間と過ごせる些細な時間さえも奪われて。私は恵まれていることに気づかされました。
- 今のこの生活が当たり前だけど、当たり前じゃない人がいる、と考えてこれから生活をしていきたいと思った。
- 横田さんや一部の人はまだ北朝鮮にいるかもしれない。岸田首相は、小泉さんを見習ってほしい。もし、自分が首相だったら、積極的に会談を開き、認めさせ、取り戻す。
- あまりみんなの関心がないところにも、たくさん問題が隠れているんだな、と考えさせられた。

<やまなみ学級の取組>「教材名：ぼくのきもち きみのきもち（人権啓発教材）」

内容項目B-（7）思いやり、感謝

- いじめというのは、相手の気持ちにならないと、その人がなぜ苦しんでいるのかが分からない。様々な理由で、仲間はずれにされるのは、やっぱりしてはいけなくて自分も思った。
- 入れ替わったことで、相手の気持ちがよく分かり、お互いに許しあいました仲良くなれたんだと思います。やっぱり人の気持ちを理解することが大切なんだと思います。
- とにかく話し合うことが大切です。自分だけがつらいわけではない。だからこそ話し合う必要があります。